



**全国学力・学習状況調査の結果と分析**

小学6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査結果が、文部科学省から発表されました。市教育委員会では、この結果を基に、本市の状況について分析を行いました。

教科に関する調査では、算数・数学については、小・中学校とともに全国の平均正答率を下回りましたが、国語と理科については、全国の平均正答率と同程度でした。

児童・生徒質問紙調査の学習に関する質問では、多くの児童・生徒が「算数・数学の授業内容はよく分かる」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答しており、主体的・対話的で深い学びの授業改善の取り組みが、着実に浸透してきていることがうかがえます。

児童・生徒質問紙調査の生活面などに関する質問では、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「学校のきまり(規則)を守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないと思っている」と多くの児童・生徒が回答しており、自分らしさを大切に、たくましく生きる子どもたちの姿が見られ、綾瀬の子どもたちの強みとなっています。

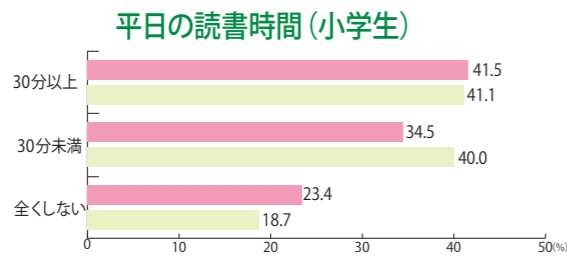
より一層の確かな学力の向上に向けた取り組みとして、「読書の充実」と「家庭学習の充実」を図ってまいりますので、家庭での協力をお願いします。

全国学力・学習状況調査の分析結果は、市ホームページに掲載しています。

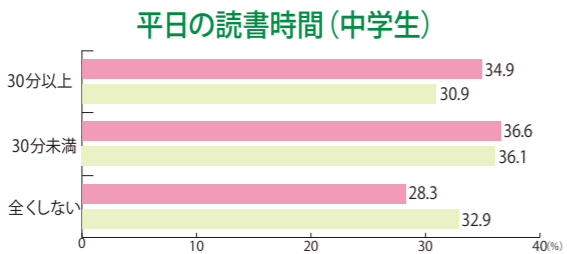
☎教育研究所 ☎70・5659

**確かな学力の向上に向けて家庭で取り組んでいただきたいこと**

**読書の充実**



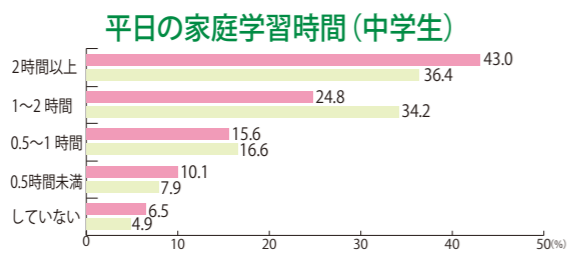
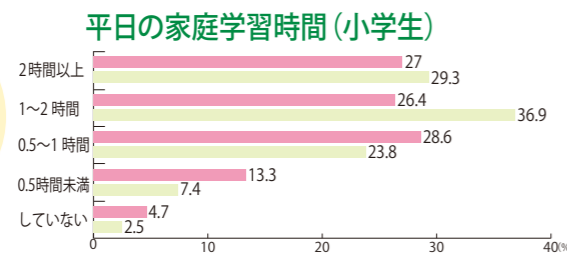
\*読書に親しむことは、本の内容を知るだけでなく、読解力や思考力の向上にもつながります。30分以上読書をする児童の割合は全国平均をやや上回っているため、引き続き、子どもたちに読書習慣が身に付くよう働きかけをお願いします



\*本市の教育調査報告書(第15集)では、勉強ができる(学力が身に付いている)と感じている子どもほど、家庭学習に1時間以上取り組んでいて、それが習慣化していることが分かりました。確かな学力の向上に向け、家庭学習により一層取り組めるよう、温かい言葉掛けや励まし、見守りをお願いします



**家庭学習の充実**



**子どものいじめ防止のために**

いじめを防止するには、周囲の大人が子どもたちの小さな変化を見落とさないことが重要です。

言葉では伝えられなくても、いじめがあれば毎日の生活の中に、これまでと違った行動や態度などが表れます。

右の「いじめのサイン発見シート」を使って普段の生活との違いを確認してください。

☎教育指導課 ☎70・5660

**いじめのサイン 発見シート**

- 〈朝〉登校前**
- 朝起きてこない。布団からなかなか出てこない。
  - 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
  - 遅刻や早退がふえた。
  - 食欲がなくなったり、だまって食べるようになる。

- 〈夕〉下校後**
- ケータイ電話やメールの着信音におびえる。
  - 勉強しなくなる。集中力がない。
  - 家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。
  - 遊びのなかで、笑われたり、からかわれたり、命令されている。
  - 親しい友達が遊びに来ない、遊びに行かない。

※チェック欄は2回、もしくは2人でできるように2つあります。

- 〈夜〉就寝前**
- 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
  - ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
  - 学校の友達の話題がへった。
  - 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。
  - パソコンやスマホをいつも気にしている。
  - 理由をはっきり言わないアザやキズアトがある。

- 〈夜間〉就寝後**
- 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
  - 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれている。
  - 教科書やノートにいやがらせのラクガキをされたり、やぶられたりしている。
  - 服がよごれていたり、やぶれていたりする。



**地域から「学びの場」発信**

**生涯学習人材バンク**

生涯学習人材バンクは、市内在住・在勤・在学の個人や団体で、学習活動に優れた知識や技術、技能を有する方々を紹介し、市民の多様な生涯学習活動を支援することを目的とした制度です。

学習内容は、芸術、文化、スポーツ、レクリエーションなどさまざまなジャンルで120人、16団体が登録しています。個人やサークルの学習活動で講師として依頼することができます。

☎生涯学習課 ☎70・5658

**生涯学習お届けバラ講座**

生涯学習お届けバラ講座は、市職員を派遣して身近な疑問に答える講座です。市の仕事を3つのジャンルに分け、59の講座メニューを用意しています。今年度は、現在までに42講座実施し、1158人の方が受講しました。

受講者からは「丁寧な説明で分かりやすかった」「知らないことがあり、勉強になった」などの声が聞かれ、大変好評です。

利用できるのは、市内在住・在勤・在学のおおむね10人以上で構成する団体です。

☎生涯学習課 ☎70・5658



**子どもが抱える課題解決のために**

**スクールソーシャルワーカー(SSW)がサポート**

スクールソーシャルワーカー(SSW)とは、教育の分野に加え、社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する者で、問題を抱えた児童・生徒に対し、当該児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関などとのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく人材です。

さまざまな課題に社会福祉の視点から、学校・関係機関などと連携して支援を行います。

\*児童・生徒が置かれた環境とは:児童・生徒をとりまく家族・友人関係・学校・関係機関・地域社会などをさします

**【相談するには】**

教育研究所(☎70・5659)にお問い合わせください。

☎同研究所

